



※川内港は、正式名称として使用する場合を除き、通称として「薩摩川内港」を使用しています。

薩摩川内市貿易振興協会

会報

NO.36

発行/2022年6月(令和4年)

薩摩川内市天辰町2211-1
薩摩川内市国際交流センター内
TEL & FAX 0996-25-3300

令和4年度定期総会(報告)



会長あいさつ 橋口 知章

本日は、会員の皆様方が出席され3年ぶりとなります薩摩川内市貿易振興協会の総会が開催できますことは大変有意義でありうれしく思います。また、平素より当協会の運営並びに活動に多大のご理解とご協力をいただいております。深く感謝申し上げます。

既にご承知のとおり、川内港におきましては、昨年3月、唐浜地区国際物流ターミナル整備事業が、初めて国の直轄事業として令和3年度新規事業に採択され、大きなニュースになりました。長年にわたる関係者の努力が実を結んだことは大変感慨深く改めて感謝申し上げます。

4月23日には、着工式が開催され、今年度本格的な工事が進むものと大きく期待しています。本日は、総会終了後、国土交通省九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所の宮崎副所長さんから唐浜地区整備事業の進捗状況等について、概要説明がございますので、よろしくお願いたします。

さて、当協会の令和3年度事業につきましては、度重

なる新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ポートセミナーの中止やポートセールスなどが制限を受けるなど、大きな影響を受けました。

一方、昨年のコンテナ取扱量は、昨年11月の韓国定期コンテナ航路高麗海運のサービス開始などにより、2万334TEUとなり、4年連続で2万TEUを達成することができました。

中でも、木材の輸出量は、バラ、コンテナ合せて5万5千立法メートルを超えるなど、前年の約1.7倍、5年前の約8.4倍となり、木材輸出の実績を大きく伸ばしているところです。

今年度は、ウイズコロナという考え方に立って、可能なかぎり積極的なポートセールスを行うとともに、稼げる川内港を目指すため、木材輸出補助金の拡充や農畜水産品などの輸出に取り組む事業者を支援する農産品輸出促進トライアル補助金を新設し、川内港からの輸出促進を図って参りたいと考えております。

本日は、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画(案)、予算(案)等についてご審議いただく予定ですが、新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない状況のため、感染防止対策を徹底し、できるだけ短時間に終了したいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

「ポート・オブ・ザ・イヤー2021」に川内港が決定



川内港が、(公社)日本港湾協会が選定する、全国で最も優れた港に贈られる「ポート・オブ・ザ・イヤー2021」に選定され、3月16日東京で表彰式が行われました。表彰式では日本港湾協会の宗岡正二会長から薩摩川内市の田中良二市長に、表彰状が贈られました。

これは、コンテナ航路の開設や甌島への高速船の就航、みなのオアシスへの登録など、これまでの官民一体となった取り組みが評価されたもので、現在取り組みが進められている唐浜地区国際物流ターミナル整備事業により更なる発展が期待されます。

川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業が着工



※イメージパース 国土交通省九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所提供

4月23日に、川内港唐浜地区国際物流ターミナル着工式が関係者出席のもと盛大に開催されました。また、6月3日には、九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所川内港出張所が市内に開設されました。今後、唐浜地区の港湾整備工事が本格化したします。

- ・整備施設：岸壁(水深12m・耐震)ふ頭用地、荷役機械
- ・事業期間：令和3年度～令和9年度(岸壁等令和7年度末暫定供用)
- ・事業費：160億円(うち港湾整備事業費122億円)

報告第1号 役員の変更

役員名	会社名	役職名等	氏名	前任者
副会長	中越パルプ工業(株)	執行役員川内工場長	富田 実	下川 靖博
〃	九州電力(株)	執行役員 川内原子力総合事務所長	米丸 賢一	川内発電所長 日野 雅貴

・中越パルプ工業株式会社定期人事異動による。(令和3年6月23日付)

・九州電力株式会社 会員事業所の変更による。

※薩摩川内市貿易振興協会規約(抜粋)

(役員任期)

第11条 役員(専務理事を除く。以下この条において同じ。)の任期は、3年とする。但し、補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員任期が満了した場合において、新役員が選任されるまでの間、従前の役員が、その職務を行う。

3 役員で官公庁、企業等から選任している場合の交替は後任者を引き続き選任する。但し、任期は前任期間とする。

薩摩川内市貿易振興協会 役員名簿

報告第1号

令和4年4月1日現在

	役員名	会社名	役職名	氏名
1	会長	川内商工会議所	会 頭	橋 口 知 章
2	副会長	川内商工会議所	副会頭	藤 井 廣 明
3	〃	中越パルプ工業(株)	執行役員 川内工場長	富 田 実
4	〃	九州電力(株)	執行役員 川内原子力総合事務所長	米 丸 賢 一
5	専務理事	薩摩川内市貿易振興協会	専務理事	末 永 隆 光
6	理 事	薩摩川内市商工会	会 長	今 藤 尚 一
7	〃	北さつま農業協同組合	川内総合支所長	上 野 真 一
8	〃	川内市漁業協同組合	代表理事組合長	下 園 広 志
9	〃	京セラ(株)	鹿児島川内工場長	重 田 幸 男
10	〃	鹿児島県建設業協会	川内支部長	廣 瀬 十 士
11	〃	植村組	代表取締役	植 村 一
12	〃	小城製粉(株)	取締役会長	小 城 年 久
13	〃	鹿児島県石油販売業(協)	川薩支部長	坊 野 好 伸
14	〃	日本通運(株)	川内支店長	富 安 紀 行
15	〃	西日本興産(株)	代表取締役社長	山 元 学
16	〃	中越物産(株)	代表取締役	川 向 博
17	〃	外歯運輸機工	代表取締役	外 歯 直 樹
18	〃	川内商工会議所	専務理事	上 村 健 一
19	〃	薩摩川内市	経済シティーセールス部長	有 馬 眞 二 郎
20	監 事	(株)鹿児島銀行	川内支店長	菊 永 栄 一 郎
21	監 事	(株)南日本銀行	川内支店長	入 田 啓 之

【任期3年：令和3年4月1日～令和6年3月31日】

議案第1号 令和3年度 事業報告

1 会計監査・理事会・総会

- 会計監査：令和3年4月21日 菊永栄一郎 入田啓之両監事
- 理事会・総会：令和3年5月20日に予定していた理事会・総会について新型コロナウイルス感染予防の観点から、総会議案に関する書面表決を実施し、議案は全て賛成多数で承認され、表決結果を本協会ホームページ及び会報に掲載した。

2 輸出入取引の斡旋、海外への宣伝及び市場の調査

・情報収集及び提供

年月日	内 容
R3.4	唐浜地区国際ターミナル整備事業新規事業化
R3.5.11	川内港植物検疫連絡協議会連絡会議・研修の開催
R3.6	公益社団法人 鹿児島県貿易協会定期総会(書面総会)
R3.7.1	唐浜地区国際物流ターミナル整備事業新規事業化の決定について関連企業、団体に通知
R3.9.28	唐浜国際物流ターミナルに求める施設・機能について意見交換会
R3.10.8	川内港整備促進期成会による国土交通省への要望活動
R3.11.5	韓国定期コンテナ航路高麗海運開設
R3.11.19	重要港湾川内港「唐浜地区」新規事業化に伴う懸垂幕掲揚式
R4.1.17	「ポート・オブ・ザ・イヤー 2021」に選定
R4.2.28	次世代型林産品輸出システム検討会(書面開催)

3 薩摩川内港の利用促進

(1) 薩摩川内港を利用した貿易活動に対する補助金交付

ア 貿易(コンテナ)補助金

区分	事業者数	数量	補助金額
輸出	44社	521本	12,720千円
輸入	103社	880本	20,360千円
合計	147社	1,401本	33,080千円

イ 木材・製材輸出促進補助金

区分	事業者数	数量	補助金額
木材	14社	46,948m ³	15,440千円
燻蒸	5社	31,679m ³	4,200千円
製材	0社	0m ³	0千円
合計	19社		19,640千円

ウ 薩摩国地域内産品輸出促進補助金

区分	事業者数	数量	補助金額
輸出	1社	2本	40千円
合計	1社	2本	40千円

エ 台風対策等支援補助金

区分	事業者数	数量	補助金額
台風9号	2社	498本	1,638千円
合計	2社	498本	1,638千円

オ リーファーコンテナ利用促進補助金

区分	事業者数	数量	補助金額
輸出入	1社	86本	1,347千円
合計	1社	86本	1,347千円

カ クレーン使用料支援補助金

区分	事業者数	時間	補助金額
輸出入	1社	6,360	749千円
合計	1社	6,360	749千円

キ 小口混載サービス利用促進補助金

区分	事業者数	数量	補助金額
輸出	2社	3本	30千円
輸入	1社	1本	10千円
合計	3社	4本	40千円

(2) 新規コンテナ航路の開設

海上コンテナ運賃高騰の中、新規定期コンテナ航路の誘致に官民一体で取り組み、令和3年11月より、韓国船社高麗海運が韓国定期コンテナ航路を開設

(3) 行政、荷役業者等と一体となったポートセールス

県内・県外ポートセールス訪問件数延260件

(4) その他の取り組み

ア 小口混載貨物サービスの利用促進

令和3年度から本格実施し、1つのコンテナに複数社の荷物を載せて輸送するサービスで、コストを削減でき、小口混載サービスの利用に要する経費の一部を補助

イ 薩摩國地域内産品輸出促進補助金の導入

薩摩國広域輸出促進協議会で構成する自治体内（薩摩川内市、阿久根市、日置市）で収穫、生産又は製造された食品を薩摩川内港から輸出する企業等に対して、新たな補助金を導入

ウ クレーン使用料支援補助金の導入

令和3年12月より、新ハーバークレーンが設置されたことに伴い、旧クレーンの使用料との差額を補填する補助金を導入

4 貿易に関する講演会及び座談会等の開催

- (1) 薩摩川内港ポートセミナー
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
(2) 川内港植物検疫連絡協議会研修会の開催
原木の輸出検疫手続き等について
(3) 通関業者及び行政との打合せ（毎月実施。12回）
ア 現状報告と今後の展望について
イ ポートセールス状況について
ウ 薩摩川内港の課題とその対策について

5 貿易に関する刊行物及び資料の斡旋

- (1) 薩摩川内港ニュース(第5号)の発行 令和3年4月
(2) 協会会報（No35）の発行 令和3年6月

6 その他本会の目的達成に必要な事項

- (1) 協会組織の拡大強化及び会員加入促進
ア 令和3年3月31日現在 会員数 98社
イ 令和4年3月31日現在 会員数 98社

議案第2号 令和3年度 収支決算

令和3年度 収支決算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部

(単位:円)

Table with 7 columns: 科目, 予算額(A), 決算額(B), 予算現額(C), 予算現額(D), 比較増減, 説明. Rows include 会費, 薩摩川内市補助金, 事業費補助金, 運営・活動補助金, 負担金, 委託料, 繰越金, 諸収入, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 7 columns: 科目, 予算額(A), 流用額(B), 予算現額(C), 決算額(D), 返納額(C)-(D), 不用額(C)-(D)-(E), 備考. Rows include 薩摩川内港利用促進事業費, 貿易補助金, 薩摩國地域内産品輸出促進補助金, 小口混載サービス利用促進補助金, 木材輸出促進補助金, 製材輸出促進補助金, 台風対策等支援補助金, タグボート回航補助金, リーファーコンテナ利用促進支援補助金, クレーン使用料支援補助金, 市内産品貿易促進支援補助金, 薩摩川内港PR事業費, 薩摩川内港ポートセミナー事業費, 薩摩川内港だより発行事業費, 薩摩川内港利活用推進費, 事務局活動費, 給料, 福利厚生費, 報償費, 旅費, 需用費, 役務費, 使用料及び賃借料, 負担金, 予備費, 合計.

Summary table with 4 columns: 収入額, 支出額, 返納額, 繰越金. Values: 80,984,306, 70,233,188, 9,239,583, 1,511,535.

議案第 3 号 令和4年度 事業計画

◎基本方針<協会規約第 4 条抜粋>及び実施予定事業

- 1 輸出入取引の斡旋、海外への宣伝及び市場の調査
 - (1) 情報収集及び提供
- 2 薩摩川内港の利用促進
 - (1) 利用促進
 - ア 薩摩川内港を利用した貿易活動に対する補助金の拡充及び交付
 - ・貿易補助金（新規・復活・継続、リーファーコンテナ加算）
 - ・木材輸出促進補助金
常熟港向け及び燻蒸費用に係る補助金を拡充
 - ・薩摩国地域内産品輸出促進補助金
 - ・小口混載サービス補助金
 - ・製材輸出促進補助金
 - ・リーファーコンセント利用促進支援補助金
 - ・農産品輸出促進トライアル補助金
 - イ 行政、荷役業者と一体となったポートセールスの実施
 - (2) 施設充実（要望）
 - ア 既存航路のサービス向上、新規航路の誘致
 - イ 倉庫等の建設
 - ウ 港湾利用料金の低減化
 - エ タグボートの配船
 - オ 唐浜地区整備事業にかかる施設・運営の調査
- 3 貿易に関する講演会及び座談会等の開催
 - (1) 薩摩川内港ポートセミナーの開催
 - (2) 貿易に関する情報交換会の開催（通関業者等との営業会議）
 - (3) 川内港動物・植物検疫連絡協議会研修会の開催
 - (4) 唐浜国際物流ターミナルに求める施設・機能に関する意見交換会の開催
- 4 貿易に関する刊行物及び資料の斡旋（配布）
 - (1) 協会会報（No36）の発行
 - (2) 薩摩川内港ニュース（第6号）の発行
 - (3) 薩摩川内港ポスターの作成
- 6 その他本会の目的達成に必要な事項
 - (1) 協会組織の拡大強化及び会員加入促進
 - (2) 薩摩川内港と南九州西回り自動車道との交通アクセス強化推進

議案第 4 号 令和 4 年度 収支予算

（令和 4 年4月1日～令和 5 年3月31日）

収入の部 (単位:円)

科目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	比較増減	説明
会費	1,485,000	1,435,000	50,000	会費
薩摩川内市補助金	72,908,000	75,689,000	-2,781,000	
事業費補助金	58,945,000	60,937,000	-1,992,000	川内港利用促進事業費補助金
運営・活動補助金	13,963,000	14,752,000	-789,000	川内港PR事業費補助金、事務局活動費補助金
負担金	500,000	500,000	0	鹿児島県
	200,000	200,000	0	川内商工会議所
委託料	500,000	500,000	0	川内港検疫衛生管理推進協議会事務委託金
繰越金	1,511,535	1,898,072	-386,537	前年度繰越金
諸収入	465	928	-463	預金利息他
合計	77,105,000	80,223,000	-3,118,000	

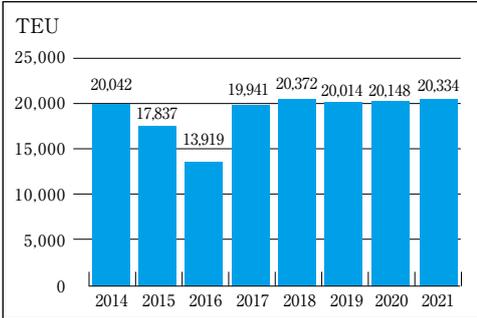
支出の部

(単位:円)

科目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	比較増減	説明
薩摩川内港利用促進事業費	58,945,000	60,937,000	-1,992,000	
貿易補助金	35,537,000	38,360,000	-2,823,000	コンテナ補助金
薩摩国地域内産品輸出促進補助金	1,000,000	3,000,000	-2,000,000	
小口混載サービス利用促進補助金	500,000	500,000	0	
木材輸出促進補助	12,000,000	9,450,000	2,550,000	
製材輸出促進補助	1,000,000	3,000,000	-2,000,000	
台風対策等支援補助金	1,500,000	1,000,000	500,000	
タグボート回航補助金	1,650,000	2,100,000	-450,000	
リーファーコンテナ利用促進支援事業補助金	1,750,000	2,527,000	-777,000	冷蔵・冷凍用電源施設使用料補助
クレーン使用料支援補助金	3,008,000	0	3,008,000	
農産品輸出促進トライアル支援補助金	1,000,000	1,000,000	0	
薩摩川内港PR事業費	3,710,000	3,710,000	0	
薩摩川内港ポートセミナー事業費	2,460,000	2,460,000	0	講師謝金、セミナー開催諸経費
薩摩川内港だより発行事業費	150,000	150,000	0	チラシ作成、チラシ郵送料他
薩摩川内港利活用推進費	1,100,000	1,100,000	0	港利活用に伴う事業費
事務局活動費	14,397,000	15,527,000	-1,130,000	
給料	9,300,000	10,260,000	-960,000	職員3名分
福利厚生費	2,000,000	2,000,000	0	職員3名分
報償費	6,000	6,000	0	監査謝金
旅費	569,000	569,000	0	県外・県内ポートセールス費、会長、局長出張費他
需用費	650,000	700,000	-50,000	会報、光熱水費他
役員費	1,250,000	1,370,000	-120,000	通信費運搬費、振込手数料、公用車任意保険料、プロバイダー料他
使用料及び賃借料	525,000	525,000	0	公用車リース料、コピー機年間使用料、パソコンリース代他
負担金	97,000	97,000	0	日本関税協会、県貿易協会他
予備費	53,000	49,000	4,000	
合計	77,105,000	80,223,000	-3,118,000	

外貨コンテナ取扱量について

薩摩川内港の2021年の外貨コンテナ取扱量は、20,334TEU（前年比100.9%）で、4年連続2万TEUを超える実績となりました。引き続き、薩摩川内港利用を促進することで安定したサービス提供を図ります。



	輸 出	輸 入
	取扱量 (TEU)	取扱量 (TEU)
2014年	10,166	9,876
2015年	8,862	8,975
2016年	6,910	7,009
2017年	9,795	10,146
2018年	10,012	10,360
2019年	10,065	9,949
2020年	10,193	9,955
2021年	10,099	10,235

年度別木材実績

	バラ貨物数量 (m ³)	コンテナ貨物数量 (m ³)	計
2016年	4,421	2,112	6,534
2017年	8,125	3,824	11,949
2018年	14,926	3,818	18,744
2019年	18,179	2,027	20,206
2020年	25,127	7,248	32,375
2021年	49,218	5,833	55,051

輸出・入コンテナ数量上位10商品

令和2年				令和3年			
順位	商品名	コンテナ数	TEU	順位	商品名	コンテナ数	TEU
1	パルプ(輸出)	1,061	2,122	1	パルプ(輸出)	1,953	3,906
2	紙(輸出)	1,060	2,063	2	ハウジングパーツ	1,010	1,996
3	魚粉	1,115	1,441	3	紙(輸出)	893	1,758
4	ハウジングパーツ	697	1,365	4	魚粉	726	1,079
5	タピオカ澱粉	605	788	5	タピオカ澱粉	473	525
6	飼料	390	735	6	丸太(輸出)	235	470
7	丸太(輸出)	314	626	7	カオリン	96	192
8	プラスチックペレット	269	537	8	肥料	105	147
9	古紙(輸出)	163	326	9	クロレート	144	144
10	ソーラーパネル	149	294	10	プラスチックスクラップ	92	144
合計		5,823	10,297	合計		5,727	10,361

輸出入コンテナ取扱実績(実入) (TEU)

	輸 出	輸 入	計
2016年	3,762	6,126	9,888
2017年	6,619	6,385	14,274
2018年	7,663	7,246	14,909
2019年	6,388	8,711	15,099
2020年	6,836	6,901	13,737
2021年	7,267	5,988	13,255

コンテナ取扱実績 (TEU)

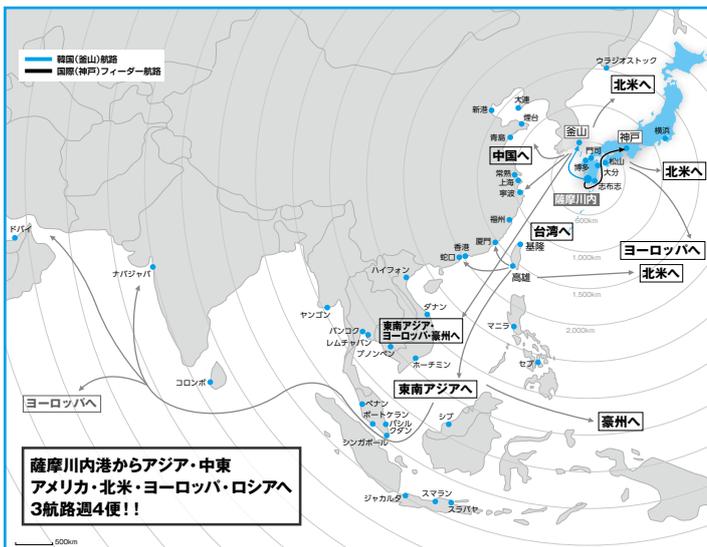
	実 入	実入+空
2016年	9,888	13,919
2017年	14,274	19,941
2018年	14,909	20,372
2019年	15,099	20,014
2020年	13,737	20,148
2021年	13,255	20,334

世界を結ぶネットワーク

薩摩川内港から世界各国へ充実の輸送サービス！

航 路	船 社	寄航曜日	寄 港 地
韓国航路 (週2便)	興亜LINE (株) (HEUNG-A LINE)	水	釜山→志布志(月)→長崎・熊本(火)→薩摩川内(水)→八代(木)→伊万里(金)→釜山
		日	釜山→伊万里(金)→三池(土)→薩摩川内(日)→釜山
韓国航路 (週1便)	高麗海運(株) (KMTC)	水	釜山→長崎(月)→熊本(火)→八代(火)→薩摩川内(水)→志布志(木)→釜山
国際フィーダー航路(週1便)	OOCL・井本海運	日	神戸→薩摩川内(日)→神戸 ※国際フィーダー航路は貨物量に応じて増便

(2022年4月現在)



【主な行き先】

《韓国・中国・台湾・東南アジア》

- 釜山
- 寧波
- 基隆
- ポートケラン
- 常熟
- 廈門
- ハイフォン
- パシルクダン
- 大連
- 蛇口
- ホーチミン
- ジャカルタ
- 新港
- 香港
- マニラ
- スラバヤ
- 煙台
- 連雲港
- バンコク
- ヤンゴン
- 青島
- 福州
- レムチャパン
- コロンボ
- 上海
- 高雄
- シンガポール

《インド・中近東・アフリカ》

- ナバジャバ
- ピパババ
- チェンナイ
- カラチ
- ジュベル・アリ
- モンサバ

《豪州・欧州・ロシア・北米》

- シドニー
 - サザンプトン
 - メルボルン
 - ロサンゼルス
 - ブリスベン
 - ウラジオストク
 - ロッテルダム
 - ハンブルク
- ほか

薩摩川内港貿易補助金のご案内

貿易補助金

定期コンテナ船又はその他外国貿易船を利用し、外国との商取引を行う事業者に対して交付します。

補助金額	新規利用事業者	◇コンテナ貨物(1個当たり) 4万円 ◇1年度当りの上限額 80万円
	継続利用事業者	◇コンテナ貨物(1個当たり) 2万円 ◇1年度当りの上限額 40万円
復活利用事業者※	◇コンテナ貨物(1個当たり) 3万円 ◇1年度当りの上限額 60万円 <small>※過去において同補助金を受け、前年度及び前々年度には同補助金を受けていない事業者</small>	
リーファーコンテナ加算 上記にそれぞれ 1万円加算		
新規・継続利用事業者	◇バラ貨物(1kg当たり) 1円 ◇1年度当りの上限額 40万円	

リーファーコンテナ利用促進支援補助金

以下の要件を満たす船舶代理店業者または海貨業者等

- ①国内に事業所を有している者
- ②鹿児島県が設置したコンテナ用冷蔵・冷凍用電源施設を使用した者

補助金額	鹿児島県が請求する冷蔵・冷凍用電源施設使用料の2分の1 <small>※鹿児島県の港湾管理条例で1時間当たり350円となっているリーファーコンセント使用料を1/2助成することで1時間当たり175円とする。</small>
------	---

薩摩国地域内産品輸出促進補助金

薩摩国地域内で収穫、生産又は製造された食品を輸出する薩摩国広域輸出促進協議会※の事業者に対して交付します。

補助金額	コンテナ貨物(1個当たり) 2万円 (個数上限は予算の範囲内)※貿易補助金に加算できます。
------	--

※薩摩国広域輸出促進協議会は、薩摩川内市、阿久根市、日置市で構成

小口混載サービス補助金

コンテナ利用運送事業者(第2種)による小口混載サービスを利用する事業者(荷主)に対して交付します。

補助金額	1回あたり1万円(年度上限額10万円)
------	---------------------

木材輸出促進補助金

薩摩川内港を利用して木材を輸出した事業者(個人経営者を含む)に対して交付します。なお、貿易補助金との重複受給はできません。

補助金額								
区分	常熟港外			常熟港				
	区分	単価	1年度当りの上限	区分	単価	1年度当りの上限		
コンテナ貨物	新規	4万円	30本	120万円	新規	5万円	30本	150万円
	継続	3万円	30本	90万円	継続	4万円	30本	120万円
	燻蒸	15万円	3回	45万円	燻蒸	15万円	3回	45万円
バラ貨物	新規・継続	45万円	2隻	90万円	新規・継続	45万円	4隻	180万円
	燻蒸	15万円	2回	30万円	燻蒸	15万円	4回	60万円

※新規利用事業者：過去に木材輸出促進補助金の交付を受けていない事業者
 ※継続利用事業者：過去において木材輸出促進補助金の交付を受けている事業者
 ※常熟港外と常熟港の重複受給は可

製材輸出促進補助金

製材を輸出した事業者に対して交付します。

補助金額	新規利用事業者	◇コンテナ貨物(1個当たり) 6万円 ◇1回当たりの上限額 180万円
	継続利用事業者	◇コンテナ貨物(1個当たり) 4万円 ◇1年度当りの上限額 120万円
	新規・継続利用事業者	◇バラ貨物(1kg当たり) 2円 ◇1回当たりの上限額 50万円 ◇1年度当りの上限額 100万円

新規 農産品輸出促進トライアル補助金

薩摩川内港を利用した農畜水産品・食品等の輸出で新規の輸出、または、新たな国、または、新たな地域への輸出を行う荷主に対して交付します。

補助対象経費	輸出に係る陸送・海上輸送・保管料・通関費
補助金額	対象経費の1/2 (1事業者上限20万円)

お問合せ

薩摩川内港の利用についてのお問合せは、以下にご連絡ください。

■ 薩摩川内港の利用・貿易アドバイス等に関するご相談

薩摩川内市商工観光部産業戦略課 グローバルグループ
 TEL 0996-23-5111 (内線5771)
 メールアドレス global@city.satsumasendai.lg.jp

■ 貿易補助金等に関するご相談

薩摩川内市貿易振興協会 梶田(トラダ)・末永・南園
 TEL/FAX 0996-25-3300
 メールアドレス boushin@kssb-satsumasendai.com

■ コンテナサービス利用

(ブッキング、見積り依頼等)に関する問合せ

日本通運株式会社川内支店川内海運事業所	TEL 0996-31-2521
中越物産株式会社	TEL 0996-26-3335
鹿児島海陸運送株式会社谷山営業所	TEL 099-262-0005
株式会社共進組	TEL 099-203-0794
株式会社上組鹿児島支店	TEL 099-269-4523